

「今後の中国経済の見通しと人民元相場について」

— 銀行マンとして、大学教授として日中国交正常化前の1971年から
50余年継続して中国にかかわってきた経験を踏まえて —

- 講師：大久保 勲（福山大学名誉教授）
- 日時：2023年9月20日(水) 14:00-15:30（日本時間）
- 場所：品川インターシティ ホール棟地下1階 会議室5
（東京都港区港南2-15-4）
※Zoomによるオンライン配信もいたします
- 費用：無料 ■ 定員：東京会場 40名 オンライン配信 100名

「一国の通貨を語ることは、一国の経済を語ることになる」

本セミナー講師の大久保勲先生は東京銀行（現・三菱UFJ銀行）から日中国交正常化前の1971年1月に日中覚書貿易事務所駐北京事務所に出向、周恩来総理から直接提起された円元決済協定締結に関わり、1980年には世界で初めての外銀北京事務所開設に、1995年には世界初の外銀北京支店開設に関わる等、豊富な中国ビジネス経験を有していらっしゃいます。

本セミナーでは中国建国以来の人民元相場を振り返り、今後の中国経済の見通しと人民元相場について語っていただきます。

主な内容

1. 人民元
 - ・人民元は歴史的に何を基準にして変動してきたか
 - ・建国以来の人民元相場の動き
 - ・人民元相場形成メカニズム改革の歩み
 - ・今後の人民元相場動向を左右する要素は何か
 - ・人民元国際化の動き
2. 中国経済
 - ・何が中国経済の成長を支えるか
 - ・不動産問題と地方政府の債務リスク
 - ・システム金融リスクの防止

お申込

下記項目をtjcc@tjcc.jp までEメールにてお送りください。

※お申込締切：9月18日(月)

①参加方式：東京会場 or オンライン ②会社名 ③参加者氏名
④部署・お役職 ⑤お電話番号 ⑥E-mailアドレス

担当：山田（TEL 03-6717-2798）

講師プロフィール



大久保 勲

東京外国語大学中国語科卒業後、東京銀行（現・三菱UFJ銀行）入行。1971年から、日中覚書貿易事務所代表、東京銀行北京事務所長、東京三菱銀行駐華総代表として計10年間北京に駐在。計30年間中国とのビジネスにかかわる。

2001年学界に転じ、福山大学経済学部長等を経て名誉教授。中国経営管理学会（現・中国経済経営学会）会長等を歴任。『人民元切上げと中国経済』（蒼蒼社）等著書多数。

